



写真:ジョウビタキ (撮影:平成29年1月27日)

「ジョウビタキ」

庭から高原までいるおなじみの冬鳥

赤 や黄に霧島山を美しく彩る木々がその葉を落とすと、もう冬はすぐそこ。ハイキングをすると、花や昆虫の姿を見つけることは難しくなりますが、葉が落ちて見通しが良くなるので野鳥たちの姿を見つけやすくなります。つつじヶ丘やピクニック広場を歩いていると、「ヒッ…ヒッ…ヒッ…ヒッ」と、とてもよく通る鳴き声が聞こえます。あたりを探してみると、オレンジ色の小さな鳥ジョウビタキでした。

低木のこずえの上でしばらく鳴いた後、地面に下りてさかんに落ち葉めぐり。どうやら餌を探しているようです。数秒して、小さなくちばしで獲物をくわえ、こずえに戻り、暴れる獲物をくわえ直しながら飲み込んでいました。

庭や公園など身近な場所にもよくいることから見つけやすい冬鳥。このオレンジ色の小さな野鳥を見ると、冬の訪れ、そしてこれから楽しい冬鳥観察のシーズンがやってくることを感じます。

(文/えびのエコミュージアムセンター)

ジョウビタキ
Phoenicurus auroreus

スズメ目 ヒタキ科

